

連休も後2日、園内はご夫婦での来園者・子供連れの御家族で人声が絶え間なく聞こえていました。本日は、活動日でキンラン・ギンランの株数を確認致しましたが、林内にこれほど多くのキンランが生育しているのか、と驚くばかりの数でした。クロツバラの開花は残念ながら未だ見られず、週末までかかりそうです。草地にはワタラセツリフネの芽が出始め、夏近しの印象です。また、この草地には沢山の昆虫が草から草へと、羽根を拡げていました。



キンランが咲く林内、緑の草が被い茂ってきた林内に鮮やかな黄色が目立ちます。まだ楽しめます。

サワフタギ(沢蓋木)、山地の沢や湿地に生育 円錐花序を付け、花冠は5深裂し、雄蕊は多数で花冠より長い



ギンラン(銀蘭)、高さ10~25cm 葉は細長い楕円形、幅3cm程

ササバギンラン(笹葉銀蘭) 高さ30~50cm、葉は卵状披針形 長さ7~15cm、幅1.5~3cm



カマツカ(鎌柄)、複散房花序 20本の雄蕊 由来は、この木の材が強靱で鎌の柄に使われることに因みます。

ハナイカダ(花筏) 雌雄別株、雄しべが退化しており雌花でしょうか



クロハネシロヒゲナガ(何故かヒゲナガガの末尾のガが無い)
白い長い触角、開張13~15cm、5月の初めに遭遇するとのこと



ナナホシテントウ
羽化直後、まもなく旅立ち



13番ズミ、結実は行われた様子でこれからの推移に注目



40番ズミ、開花が遅く落花も速いせい、実が小さい